

令和2年度 奈良県いじめ対策委員会 概要

- 1 開催日時 令和2年12月21日（月） 9：00～11：00
- 2 開催場所 奈良県庁 教育委員室
- 3 出席者
 - 委員
田辺委員長、大橋委員、川上委員、林委員
 - 教育委員会事務局
教育長、教育次長
学校教育課長、同課長補佐、同生徒指導係長、同生徒指導係指導主事・主査3名
教育研究所教育支援部長、同支援係長、同相談係長
 - 文化・教育・くらし創造部
教育振興課長
- 4 議 事
 - (1) 奈良県のいじめの現状について
 - (2) 県教育委員会のいじめ防止等の取組について
 - (3) 個別の情報等が含まれる事案等について
 - (4) その他

- 公開・非公開の別
 - (1) 公開
 - (2) 公開
 - (3) 非公開 ※「審議会等の会議の公開に関する指針3の（ウ）」に規定される事項が含まれる可能性が高いため
 - (4) 公開

5 議事概要

(1) 奈良県のいじめの現状について

- 令和元年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」における奈良県の「1,000人当たりの認知件数」は3年連続で増加しており、全国平均を大きく上回っている。増加の主な要因としては、法に基づいたいじめの定義や積極的認知が浸透してきたことがあげられる。

「校種別」では小学校の増加が顕著で、「学年別」では小2が最も多く、小6から中1にかけて一度増加する以外は、学年が上がるにつれて減少している。

- 「解消率」は、昨年度と同様に低下した。これは、一見いじめが解消しているように見えても安易に解消と結論づけることなく、いじめが再発する可能性を組織で慎重に判断し、継続して見守るなど、丁寧に対応していることが要因である。今後もこの姿勢を基本に取り組んでいきたい。
- 「発見のきっかけ」については、全国に比べて「教職員が発見」の割合が高いことが、奈良県の特徴である。また、「態様」については、各校種とも「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が最も多く、「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる」が、校種が上がるごとに増加する。
- ※ 各委員より、「いじめの認知件数が上がってきたことは評価できる。」「認知したいじめについて、校内いじめ対策委員会で対処するなど組織として対応できていない学校もあるのではないか。」等の意見が述べられた。

(2) 県教育委員会のいじめ防止等の取組について

- 「各種教育相談」では、従来の来所・電話・メールの他に、SNSによる相談を行うなど多様なチャンネルづくりを進めている。SNSによる相談について、本年度は9月から約2週間単位で3回の期間で実施したが、例えば9月12日から23日の期間では314件の相談があった。
- 「こころと生活等に関するアンケート」では、これまでに引き続き、小4約1万人を対象に悉皆調査を実施している。また、小5以上を希望調査とし、任意の時期に何度でも実施できるように整えている。本年度から、GIGAスクール構想に伴う学校のICT環境の整備が進んだこととも関連し、「G Suite for Education」版を実装した。
- 令和3年度から毎年12月を「いじめ防止強化月間」と定め、県はいじめ防止対策の一層の強化を図りたい。具体的には、県立学校におけるいじめアンケート調査の6月と12月の複数回実施、「いじめ防止組織会議」の集中開催、生徒会による啓発活動、研修会の実施等を計画している。
- ※ 各委員より、「GIGAスクール構想によるタブレット等の配布が始まり、SNSが子どもたちの生活上より身近になるので、対策強化が必要である。」等の意見が述べられた。

(3) 個別の情報等が含まれる事案等について（非公開のため不掲載）

(4) その他

審議事項：「学校におけるいじめの未然防止の取組」について、各委員より意見聴取

- いじめの未然防止のためには、児童生徒にグループ討議等を経験させ、他者の多様な意見に触れさせる機会を増やすこと、自分と違う意見をもつ人とどう折り合いをつけて生活するかを考える機会を増やすことが大切である。授業はもちろん学校行事等、全ての学校教育活動において児童生徒がそのような経験ができる仕掛けを、学校がつくっていく必要がある。
- いじめの未然防止は、「些細な対人トラブル」を「いじめの芽」と捉え、背景も見ながらどのように対応するかが重要になる。

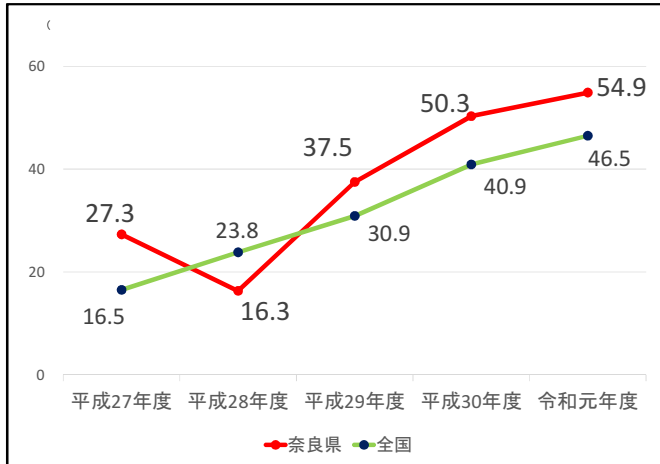
令和元年度 いじめに関する調査結果

「令和元年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」
 「令和元年度奈良県公立学校における生徒指導の課題に関する諸調査」

1 1,000人当たりの認知件数

(奈良県の国公立小・中・高・特)

(件)



2 校種別

(奈良県の国公立小・中・高)

(件)

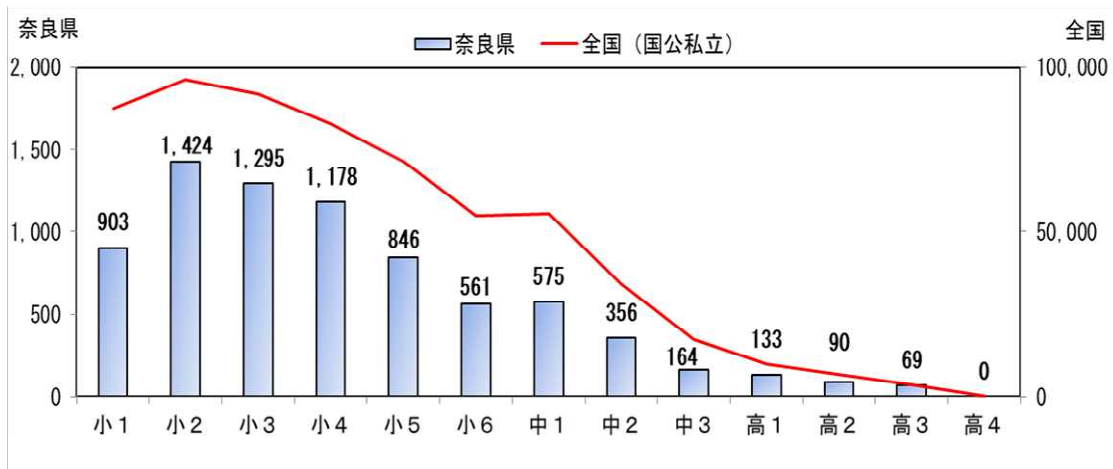
	小学校	中学校	高等学校	合計
令和元年度	6,497	1,228	356	8,081
平成30年度	6,054	1,055	359	7,468
平成29年度	4,534	826	306	5,666
平成28年度	1,686	615	186	2,487
平成27年度	2,712	1,274	247	4,233

- 認知件数は増加傾向
- 特に小学校で顕著

3 学年別

(奈良県の公立小・中・高)

(件)



- 小学校2年生が最多
- 全国とほぼ同じ傾向

4 解消率

(%)

区分	年度	小中高特	小中高特
		奈良県 (国公立)	全国 (国公立)
いじめが解消しているもの	R1	77.1	83.2
	H30	84.6	84.3
	H29	90.1	85.8
	H28	87.9	90.5
	H27	76.3	88.7

- 解消率は2年連続低下

5 発見のきっかけ

(奈良県の公立小・中)

(%)

区 分		小学校		中学校	
		奈良県	全国 (国公立)	奈良県	全国 (国公立)
学校の教職員が発見		86.8	70.6	67.8	54.0
内 訳	学級担任が発見	5.2	10.7	7.0	9.6
	学級担任以外の教員が発見	0.4	1.4	3.0	5.8
	養護教諭が発見	0.0	0.2	0.6	0.7
	スクールカウンセラー等の外部の相談員が発見	0.1	0.1	0.2	0.3
	アンケート調査などの学校の取組により発見	81.0	58.2	57.0	37.6
学校の教職員以外の情報により発見		13.2	29.4	32.2	46.0
内 訳	本人からの訴え	7.1	15.6	18.1	25.2
	当該児童生徒（本人）の保護者からの訴え	3.2	9.5	9.7	13.5
	児童生徒（本人を除く）からの情報	2.3	3.0	3.4	5.3
	保護者（本人の保護者を除く）からの情報	0.5	1.1	0.6	1.6
	地域の住民からの情報	0.0	0.1	0.1	0.1
	学校以外の関係機関（相談機関を含む）からの情報	0.0	0.1	0.1	0.2
	その他（匿名による投書など）	0.0	0.0	0.2	0.1

※ 構成比は、各区分における認知件数に対する割合

6 態様

(奈良県の公立小・中・高)

(%)

区 分	小学校		中学校		高等学校	
	奈良県	全国 (国公立)	奈良県	全国 (国公立)	奈良県	全国 (国公立)
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	54.4	61.0	70.9	66.4	69.3	61.7
仲間はずれ、集団による無視をされる	14.8	13.9	14.1	12.4	14.4	16.2
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	22.8	23.6	15.6	13.7	7.2	9.8
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	8.5	5.7	4.6	4.5	1.1	3.6
金品をたかられる	1.5	0.9	1.6	1.1	0.4	2.6
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	4.2	5.6	4.0	5.2	2.5	5.3
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする	8.0	8.4	7.7	7.3	6.1	6.7
パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる	0.9	1.2	7.2	8.1	20.6	18.7
その他	9.7	4.6	11.3	3.1	4.3	5.2

※ 構成比は、各区分における認知件数に対する割合《複数選択可》

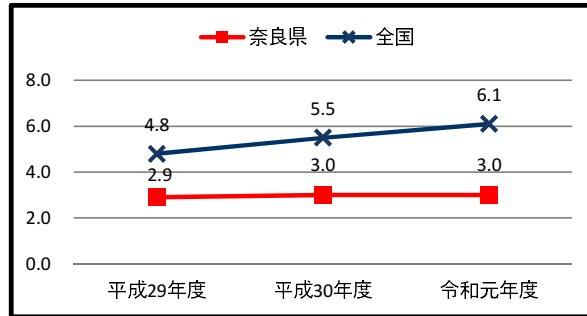
令和元年度
「児童生徒の問題行動・不登校等
生徒指導上の諸課題に関する調査」
結果の概要

奈良県教育委員会

1 暴力行為【国公立】

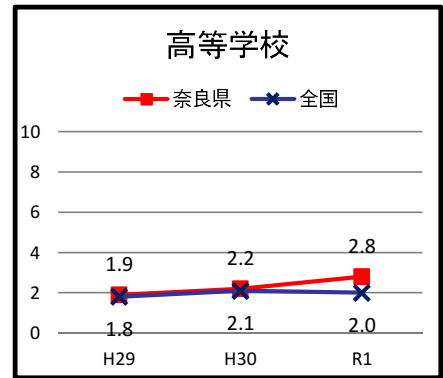
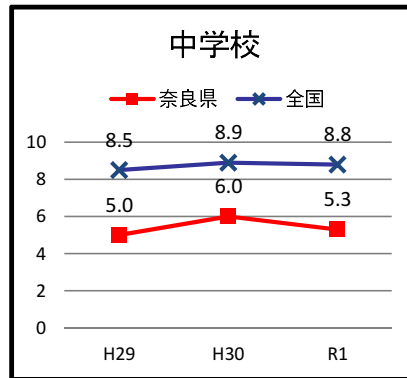
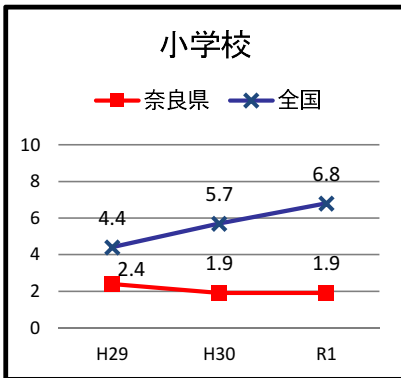
(1) 概況 (小・中・高等学校合わせた1,000人当たりの発生件数)

	奈良県	全国
平成29年度	2.9	4.8
平成30年度	3.0	5.5
令和元年度	3.0	6.1



(2) 校種別 (1,000人当たりの発生件数)

	小学校		中学校		高等学校	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
令和元年度	1.9	6.8	5.3	8.8	2.8	2.0

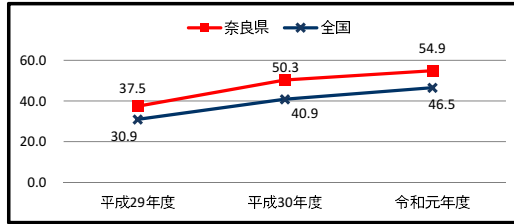


奈良県の小・中・高等学校における児童生徒1,000人当たりの暴力行為の発生件数は3.0件で、全国平均を下回った。全国的には、小学校での増加が顕著。

2 いじめ【国公立】

(1) 概況 (小・中・高・特別支援学校合わせた1,000人当たりの認知件数)

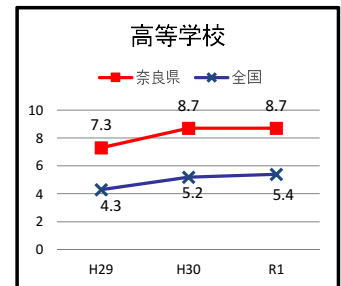
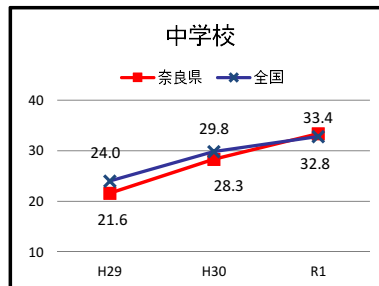
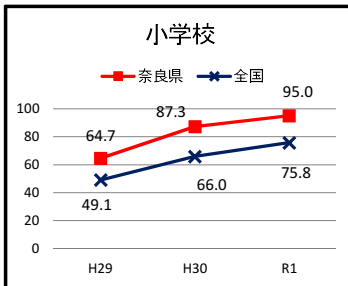
	奈良県	全国
平成29年度	37.5	30.9
平成30年度	50.3	40.9
令和元年度	54.9	46.5



(2) 校種別 (1,000人当たりの認知件数)

	小学校		中学校		高等学校	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
令和元年度	95.0	75.8	33.4	32.8	8.7	5.4

※小・中学校は5月1日現在の児童生徒数、高等学校は4月1日現在の生徒数から算出



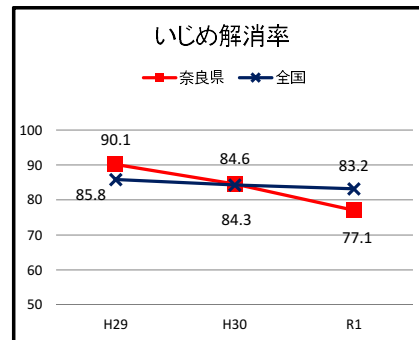
※校種ごとに数値が大きく異なるため、グラフの軸の値の範囲を変えています。

(3) いじめの認知件数

	奈良県			全国		
	小学校	中学校	高等学校	小学校	中学校	高等学校
令和元年度	6,497	1,228	356	484,545	106,524	18,352

(4) いじめの現在の状況 (%)

区分	年度	小中高特	
		奈良県 (国公立)	全国 (国公立)
いじめが解消しているもの	H29	90.1	85.8
	H30	84.6	84.3
	R1	77.1	83.2
解消に向けて取組中	H29	9.6	13.9
	H30	14.8	15.4
	R1	22.2	16.6
その他	H29	0.3	0.3
	H30	0.5	0.4
	R1	0.7	0.2



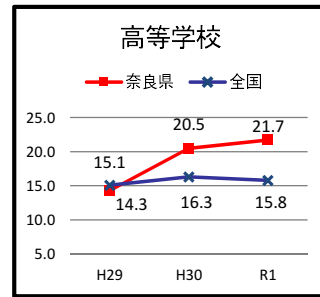
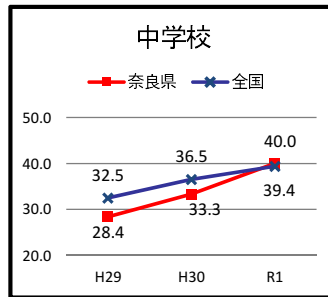
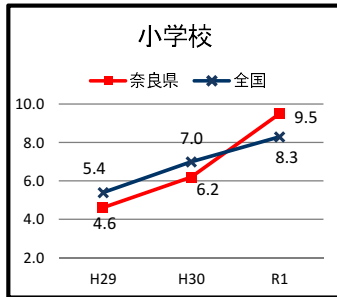
奈良県の小・中・高等学校におけるいじめの認知件数の合計は、8,081件(平成30年度は7,468件)。1,000人当たりの認知件数は、小・中・高等学校において全国平均を上回った。引き続き、軽微な事案を含めた積極的な認知を求めていく。

なお、解消率は77.1%と、全国平均を下回った。引き続き、安易に解消したと判断しないよう求めるとともに、年度を越えた追跡を重点的に実施する。

3 不登校【国公立】

(1) 校種別 (1,000人当たりの不登校児童生徒数)

	小学校		中学校		高等学校	
	奈良県	全国	奈良県	全国	奈良県	全国
令和元年度	9.5	8.3	40.0	39.4	21.7	15.8



(2) 不登校児童生徒数

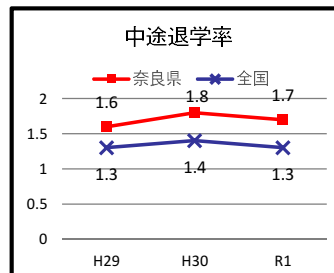
	奈良県			全国		
	小学校	中学校	高等学校	小学校	中学校	高等学校
令和元年度	650	1,470	771	53,350	127,922	50,100

長期欠席児童生徒の理由別分類において複合的理由であっても不登校に分類することとしたため、奈良県の1,000人当たりの不登校児童生徒数は、すべての校種で増加した。引き続き、長期欠席児童生徒への学習支援策の充実などに取り組む。

4 中途退学【国公立】

(1) 中途退学率 (%)

	奈良県	全国
令和元年度	1.7	1.3



(2) 中途退学理由

事由	(人)									
	学業不振	学校生活・学業不適応	進路変更	問題行動	病気が死亡	経済的理由	家庭事情	その他	合計	
奈良県	退学者数	37	201	364	20	46	11	14	4	697
	事由別率 (%)	5.3	28.8	52.2	2.9	6.6	1.6	2.0	0.6	100.0
全国	退学者数	2,905	15,678	15,237	1,614	2,009	782	1,800	2,857	42,882
	事由別率 (%)	6.8	36.6	35.5	3.8	4.7	1.8	4.2	6.7	100.0

奈良県の高등학교の中途退学率は1.7%で、全国平均を上回った。中途退学者数は、全日制課程、定時制課程、通信制課程を合わせて697人。理由別では、進路変更が最も多く364人。中途退学防止に向け、教育支援のさらなる充実に取り組む。

1 いじめに関するアンケート調査の実施（資料 2 - 1 ②参照）

目的 一人でも多くの児童生徒をいじめから救う
いじめを見逃さず、いじめ対応に強い学校組織を築く

実施率 100%（平成28年度～令和元年度）

いじめの積極的認知を推進するための取組
・平成29年度 再確認を実施 ・平成30年度 集計用紙の変更

2 教職員の対応力向上

研修会等 ・県立教育研究所における研修講座（各校種・各段階）
・生徒転落事象を受けた再発防止研修（平成29年度より毎年12月4日開催）
・各学校における校内研修、各市町村主催の研修会 等

作成資料 「事例から学ぶいじめ対応集」平成21年3月作成
「いじめ早期発見・早期対応マニュアル」平成24年度作成、平成29年度改訂

3 各種教育相談（資料 2 - 1 ③参照）

電話、来所、メール、SNS等による教育相談、居場所での活動 等

4 「こころと生活等に関するアンケート」の実施（資料 2 - 1 ④参照）

目的 児童生徒個々の課題や悩みを洗い出すことで教職員の児童生徒理解を一層深め、
いじめの未然防止・早期発見等を含む効果的な指導や支援につなげる

実施状況 悉皆調査：県内国公立小学校4年生の全児童
希望調査：県内小学校5年生以上、中学校、高等学校等の児童生徒

5 専門家等による支援の実施

- ・スクールカウンセラーの配置 [全公立義務教育・中学校、全県立高等学校及び公立小学校20校]
児童生徒の心のケア、校内教育相談体制の充実
- ・スクールソーシャルワーカー（生活支援アドバイザー）の派遣 [6市14町12村2県立学校]
児童生徒の課題解決に向けた助言、関係機関等との連携等のコーディネート
- ・児童相談員の配置 [公立小学校20校]
保健室や別室での相談相手、きめ細かな行動観察及び見守り等

各専門家等を生徒指導上の諸課題の未然防止、早期発見、早期支援・対応につなげる

6 緊急いじめ対応等学校支援事業

目的 学校等だけでは解決が困難な事態への対応

内容 弁護士、大学教授等、臨床心理士、県警少年サポートセンター職員、県教委指導主事・生徒指導支援アドバイザー等を派遣する。

7 県教育委員会事務局の組織改編

- ・より多角的な視点からの生徒指導・教育相談が可能となるよう生徒指導支援室を学校教育課生徒指導係と教育研究所教育支援部に再編成、特別支援教育推進室を新設
- ・上記3所属と人権・地域教育課で「生徒指導連絡会議」を組織し、連携体制を確立

れいわ ねんど かん
令和2年度 いじめに関するアンケート

「いじめ」とは、^{つぎ}次のようなことをされることです。

- ・ばかにされたり、^{わるくち}悪口やこわいこと、いやなことを^い言われる
- ・^{なかま}仲間はずれや、^{むし}無視
- ・ぶつかられる、たたかれる、けられる
- ・^{かね も もの}お金や持ち物をとられる
- ・^{かね も もの}お金や持ち物をかくされる、こわされる、すてられる
- ・いやなことやはずかしいこと、あぶないことをされる、させられる
- ・パソコンやスマートフォンなどの^{じょうほうき き}情報機器を使って、^{わるくち}悪口やいやなことを^い言われたり、^か書かれたりする

^{かい}1回だけでも、^{ちい}小さなことだと思っても、^{おも}「いじめ」と^{かんが}考えてください。

令和2年度 いじめに関するアンケート

このアンケートは、みなさんが安心して学校生活を送るために行うものです。正直に答えることが、あなたやあなたの周りで苦しんでいる仲間を助けることにつながります。次の質問に対して、当てはまる番号に○印をつけてください。(質問1、質問3、質問5には必ず全員回答してください。)

なお、意味のわからない言葉があるときは、先生に聞いてください。

() 年 () 組

自分のことについて

質問1 あなたは、今の学年になってから、いじめられたことがありますか。(全員回答)

- ① ある
- ② ない

質問2 質問1で「① ある」と答えた人だけ、この後の質問(1)～(4)に答えてください。

(1) 今もいじめられていますか。

- ① 今もいじめられている
- ② 今はいじめられていない

(2) どのような場面でいじめられていますか。またはいじめられましたか。当てはまるすべての番号に○印をつけてください。

- ① 登下校中
- ② 授業中
- ③ 休み時間・昼休み
- ④ 給食やそうじの時間
- ⑤ 放課後
- ⑥ 自分の家にいるときや遊びに行ったときなど、下校した後
- ⑦ その他(具体的に)

(3) だれにいじめられていますか。またはいじめられましたか。当てはあるすべての番号に○印をつけてください。

- ① 同じ学級の人
- ② 同じ学年のちがう学級の人
- ③ 同じ学校の上級生
- ④ 同じ学校の下級生
- ⑤ ちがう小学校の人
- ⑥ 中学校や高校の人
- ⑦ その他(具体的に)

(4) どのようないじめですか。またはいじめでしたか。当てはまるすべての番号に○印をつけてください。

- ① 冷やかされたり、からかわれたり、おどされたり、悪口やいやなことを言われたりする
- ② 仲間はずれにされたり、集団で無視されたりする
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、けられたりする
- ④ ひどくぶつかられたり、たたかれたり、けられたりする
- ⑤ お金や持ち物を無理やりとられたり、要求されたりする
- ⑥ お金や持ち物をかくされたり、ぬすまれたり、こわされたり、捨てられたりする
- ⑦ いやなことやはずかしいこと、あぶないことをされたり、させられたりする
- ⑧ パソコンやスマートフォンなどの情報機器を使って、悪口やいやなことを書かれる
- ⑨ その他(具体的に)

まわりの人のことについて

質問3 あなたの周りで、今、いじめられている人はいますか。(全員回答)

- ① いる ② いない

質問4 質問3で「① いる」と答えた人だけ、この後の質問(1)～(4)に答えてください。

(1) そのいじめはどんな場面で起きていますか。当てはまるすべての番号に○印をつけてください。

- ① 登下校中 ② 授業中
③ 休み時間・昼休み ④ 給食やそうじの時間
⑤ 放課後
⑥ 自分の家にいるときや遊びに行ったときなど、下校した後
⑦ その他(具体的に)

(2) いじめられているのはだれですか。当てはまるすべての番号に○印をつけてください。

- ① 同じ学級の人 ② 同じ学年のちがう学級の人
③ 同じ学校の上級生 ④ 同じ学校の下級生
⑤ ちがう小学校の人 ⑥ 中学校や高校の人
⑦ その他(具体的に)

(3) いじめているのはだれですか。当てはまるすべての番号に○印をつけてください。

- ① 同じ学級の人 ② 同じ学年のちがう学級の人
③ 同じ学校の上級生 ④ 同じ学校の下級生
⑤ ちがう小学校の人 ⑥ 中学校や高校の人
⑦ その他(具体的に)

(4) どのようないじめですか。またはいじめでしたか。当てはまるすべての番号に○印をつけてください。

- ① 冷やかされたり、からかわれたり、おどされたり、悪口やいやなことを言われたりする
② 仲間はずれにされたり、集団で無視されたりする
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、けられたりする
④ ひどくぶつかられたり、たたかれたり、けられたりする
⑤ お金や持ち物を無理やりとられたり、要求されたりする
⑥ お金や持ち物をかくされたり、ぬすまれたり、こわされたり、捨てられたりする
⑦ いやなことやはずかしいこと、あぶないことをされたり、させられたりする
⑧ パソコンやスマートフォンなどの情報機器を使って、悪口やいやなことを書かれる
⑨ その他(具体的に)

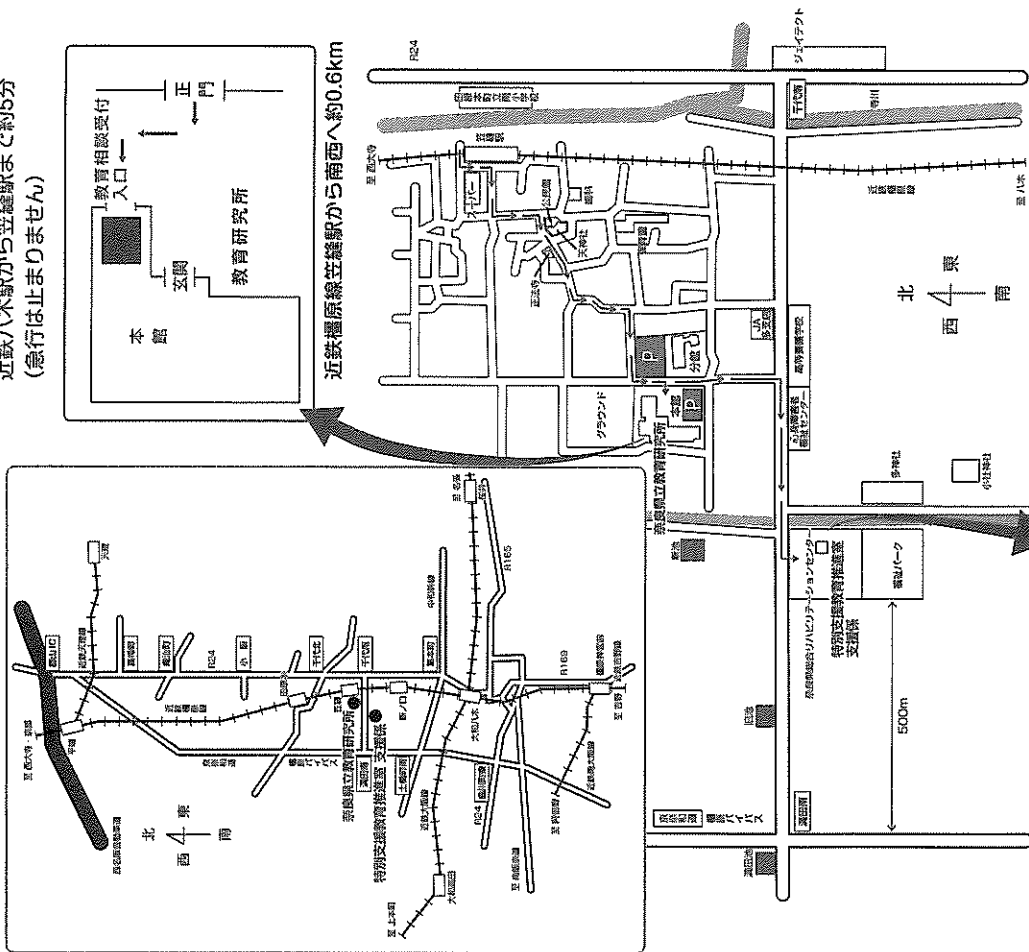
教育相談のご案内

奈良県教育委員会では、子どもたちのこやかな成長を願ってさまざまな教育相談を行っています。

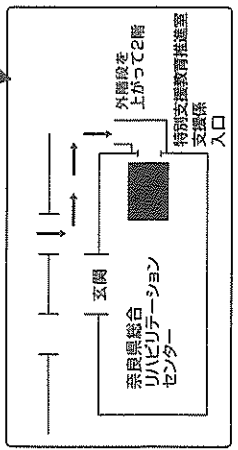
教育研究所 教育支援部では電話教育相談、来所教育相談、居場所での活動、訪問教育相談、派遣教育相談、メール相談を行っています。

特別支援教育推進室では、障害のある幼児児童生徒、保護者及び教員への電話教育相談や来所教育相談、各校園等からの要請に応じた訪問教育相談やケース会議等への支援を行っています。

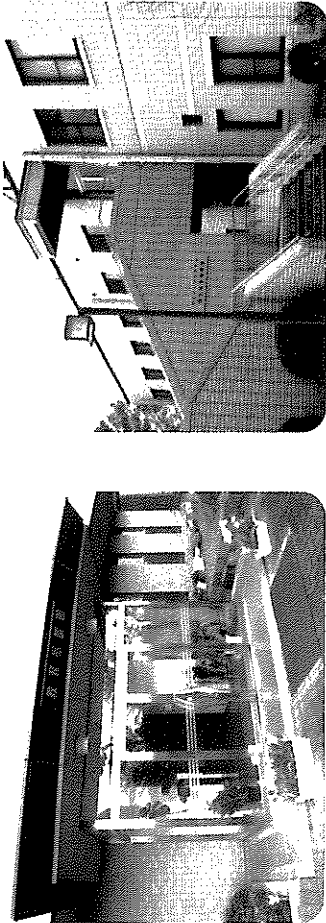
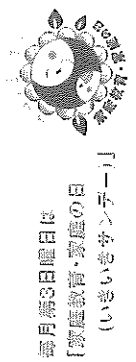
近鉄西大寺駅から笠縫駅まで約25分
近鉄八木駅から笠縫駅まで約5分
(急行は止まりません)



ご案内



毎年11月1日は
「奈良教育の日」
奈良県教育委員会の日



教育研究所 教育支援部
〒 636-0343 奈良県磯城郡田原本町栗庄 22-1
(教育研究所1階)

特別支援教育推進室 支援係
〒 636-0393 奈良県磯城郡田原本町多 722
(奈良県総合リハビリテーションセンター2階)

子どもたちのすこやかな成長を願って

教育研究所 教育支援部

電話教育相談

「あすなるダイヤル」

不登校やいじめなど学校生活での悩み、子育てなど家庭生活での悩みにお応えします。気軽に電話ください。

Tel 0744-34-5560

＜相談日時＞

平日 午前9時～午後9時
土日祝 午前9時～午後7時

全国統一の

「24時間子供SOSダイヤル」

なやみおう
0120-0-78310

奈良県内から上記番号に電話をすると、「あすなるダイヤル」の相談時間帯は「あすなるダイヤル」に、それ以外の時間帯は「奈良のちの電話」に転送されます。

特別支援教育推進室

教育相談

「周りの子どもたちとうまく遊べない」
「ことばの発達に気になる」
「学習のつまずきや遅れが気になる」

まずはお電話ください。

Tel 0744-32-8201

来所教育相談

直接お会いしてご相談をお受けします。申込みは「あすなるダイヤル」にお電話ください。

Tel 0744-34-5560

＜相談日時＞

平日 午前9時～午後5時
(水曜日は午前のみ)

＜相談時間＞

初回80分 2回目以降50分
* 相談はすべて予約制です。

居場所での活動

来所教育相談での様子を見て、居場所での活動をうながします。他の児童生徒や相談員とスポーツ、自然観察、自主学習等の活動を行います。

＜活動日時＞

火曜日・金曜日 午後1時～午後3時

訪問教育相談

ひきこもり傾向の児童生徒のご家庭を訪問して、相談を行います。申込みは学校から教育支援部にご連絡ください(0744-33-8904)。

＜相談日時＞

平日 午前9時～午後5時
(水曜日は午前のみ)

＜相談時間＞

1回50分
* 来所教育相談につながることを願って行います。

派遣教育相談

カウンセラー(医師・臨床心理士等)が学や市町村教育委員会にうかがいます。学校や市町村教育委員会と調整のうえ、派遣日時等を決定します。申込みは学校から教育支援部にご連絡ください(0744-33-8908)。

メール相談

「悩みならメール」

学校生活での悩み、家庭生活での悩み、友だちや進路に関する悩みなど、中学・高校等の生徒本人からの相談にお応えします。

＜相談方法＞

QRコードを読み取り、「悩みならメール」のアドレス(soudan@soudan-nara-mail.jp)に空メールを送ってください。



パソコンからは、「soudan@soudan-nara-mail.jp」に空メールを送ってください。

数日以内に、相談のためのテンプレートが届きます。

* 迷惑メール防止の設定で(soudan@soudan-nara-mail.jp)からのメールを受信できるように設定してください。

相談についての秘密は固く守られます。

学校等支援

各校園等からの要請に応じ、訪問教育相談やケース会議等への支援を行っています。

まずはお電話ください。

Tel 0744-32-8201



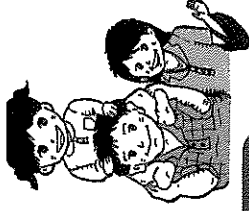
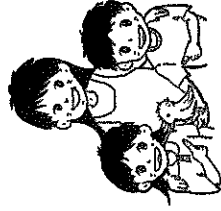
？ どんことをするの？

本人や保護者、教員のお話をお聞きしながら、子どもたちがよりよい学校園生活を送れるよう、一緒に考えます。必要に応じて関係機関への連携を図ります。



？ どうやって相談するの？

電話教育相談、来所教育相談等にて実施します。



せいかつとう かん こころと生活等に関するアンケート

これは、みなさんの気持ちについて、学校での様子を中心にたずねるアンケートです。
 こた ないよう せいせき いっさいかんけい
 答えた内容は、成績とは一切関係ありません。

こじんてき しつもん まも
 個人的なことを質問していますが、あなたのひみつは必ず守ります。
 また、あなたのなまえがどこかに出ることもありません。

アンケートに答えるときの注意

- ① 質問を読んで思ったままを答えるようにしてください。
 どの質問にも、「正しい答え」はありません。できるだけ全ての質問に答えてください。
- ② どうしても答えたくないものは答えなくてもいいです。
 とちゅう ちゅうし
 途中で中止することもできます。

がくねん・くみ
 学年・組

()年 ()組 しゅっせきばんごう
 出席番号()

つき
 次のページから質問が始まります。
 ねが
 よろしく願います。



つぎ ぶん
次の文は、あなたにどのくらいあてはまりますか？

「とてもあてはまる(とてもそう思う)」場合は 4、

「だいたいあてはまる(だいたいそう思う)」場合は 3、

「あまりあてはまらない(あまりそう思わない)」場合は 2、

「まったくあてはまらない(まったくそう思わない)」場合は 1とし、

どれか一つの数字をえらんで、○をつけてください。

		とても あてはまる	だいたい あてはまる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない
1	わたしは、自分のことが好きだ	4	3	2	1
2	教室での声や音がうるさく耳をふさぎたくなることがある	4	3	2	1
3	私には、自分のことをわかってくれる人がある	4	3	2	1
4	仲間に入れてもらえないことがある	4	3	2	1
5	周りの人とちがっていても自分の言いたいことは伝えることができる	4	3	2	1
6	うまくできなくてもいやになったりせず、がんばり通せる	4	3	2	1
7	私のことを見守ってくれる人たちに感しゃしている	4	3	2	1
8	私は、毎日がとてもたいくつな気がする	4	3	2	1
9	学校で友だちに会えるのがうれしい	4	3	2	1
10	わすれものが多い	4	3	2	1
11	学校の先生は、私がこまったときに助けてくれる	4	3	2	1
12	いのちはものすごく大切だと思う	4	3	2	1
13	友だちは、私のことをわかってくれている	4	3	2	1
14	いやなことがあっても、くよくよしないほうだ	4	3	2	1
15	学校のじゅ業がよくわかる	4	3	2	1



16	相手の伝えたい気持ちや考えがわかる	4	3	2	1
17	私は、家族にささえてもらっていると思う	4	3	2	1
18	私は、自分のことが大事に思える	4	3	2	1

		とても あてはまる	だいたい あてはまる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない
19	自分の気持ちを落ち着かせることがむずかしい	4	3	2	1
20	自分の中にはいろいろな力がかかっていると思う	4	3	2	1
21	友だちから知らん顔をされることがある	4	3	2	1
22	学校の先生にたよることができる	4	3	2	1
23	私は、何ごとにもやる気がおきないことがある	4	3	2	1
24	なやみを話せる友だちがいる	4	3	2	1
25	この学校が好きだ	4	3	2	1
26	学校の勉強をがんばっている	4	3	2	1
27	家族に愛されていると思う	4	3	2	1
28	生きていることはすばらしいと思う	4	3	2	1
29	自分の気持ちや考えをうまく伝えることができる	4	3	2	1
30	何か失敗したとき、立ち直るのは早いほうだ	4	3	2	1



31	私には、良いところがある	4	3	2	1
32	自分だけ周りとはちがうと感ずることがある	4	3	2	1
33	私には、自分のことを必要としてくれる人がいる	4	3	2	1
34	友だちにいやなことをされることがある	4	3	2	1
35	私は、自分の考えや行いが正しいと思う	4	3	2	1
36	私は、悲しい気持ちになることが多い	4	3	2	1
37	学校の先生は、私のことをわかってくれている	4	3	2	1
38	学校に行くのが楽しみだ	4	3	2	1
39	つらいとき、友だちはなぐさめたりはげましたりしてくれる	4	3	2	1

		とても あてはまる	だいたい あてはまる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない
40	きゅう よてい か 急に予定が変わると、どうしていいかわからなくなる	4	3	2	1
41	わたし べんきょう おも 私は、勉強はまあまあできるほうだと思	4	3	2	1
42	いま 今をいっしょうけんめい生きていきたいと思	4	3	2	1
43	じぶん いえ かぞく だいす 自分の家や家族が大好きだ	4	3	2	1
44	りゆう 理由もなくしかられることが多い	4	3	2	1
45	ひと なかよ 人と仲良くつきあえるほうだ	4	3	2	1

これで終わりです。最後までありがとうございました。

こころと生活等に関するアンケート（小学生用）

これは、みなさんの気持ちについて、学校(がっこう)での様子(ようす)を中心(ちゅうしん)にたずねるアンケートです。

答(こた)えた内容(ないよう)は、成績(せいせき)とは一切(いっさい)関係(かんけい)ありません。

個人的(こじんてき)なことを質問(しつもん)していますが、あなたのひみつは必(かなら)ず守(まも)ります。

また、あなたの名前(なまえ)がどこかに出(で)ることもありません。

アンケートに答(こた)ええるときの注意(ちゅうい)

- ① 質問(しつもん)を読(よ)んで思(おも)ったままを答(こた)えるようにしてください。
どの質問(しつもん)にも、「正(ただ)しい答(こた)え」はありません。できるだけ全(すべ)ての質問(しつもん)に答(こた)えてください。
- ② どうしても答(こた)えたくないものは答(こた)えなくてもいいです。
途中(とちゅう)で中止(ちゅうし)することもできます。

学年

- 第4学年
- 第5学年
- 第6学年

組

- 1組
- 2組
- 3組
- 4組
- 5組
- 6組



出席番号

回答を入力

回答について

- 「まったくあてはまらない（まったくそう思わない）」場合は1
- 「あまりあてはまらない（あまりそう思わない）」場合は2
- 「だいたいあてはまる（だいたいそう思う）」場合は3
- 「とてもあてはまる（とてもそう思う）」場合は4

氏名

回答を入力

1 私(わたし)は、自分(じぶん)のことが好(す)きだ

「まったくあてはまらない（まったくそう思わない）」は1、「あまりあてはまらない（あまりそう思わない）」は2、「だいたいあてはまる（だいたいそう思う）」は3、「とてもあてはまる（とてもそう思う）」は4

- | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> | <input type="radio"/> |



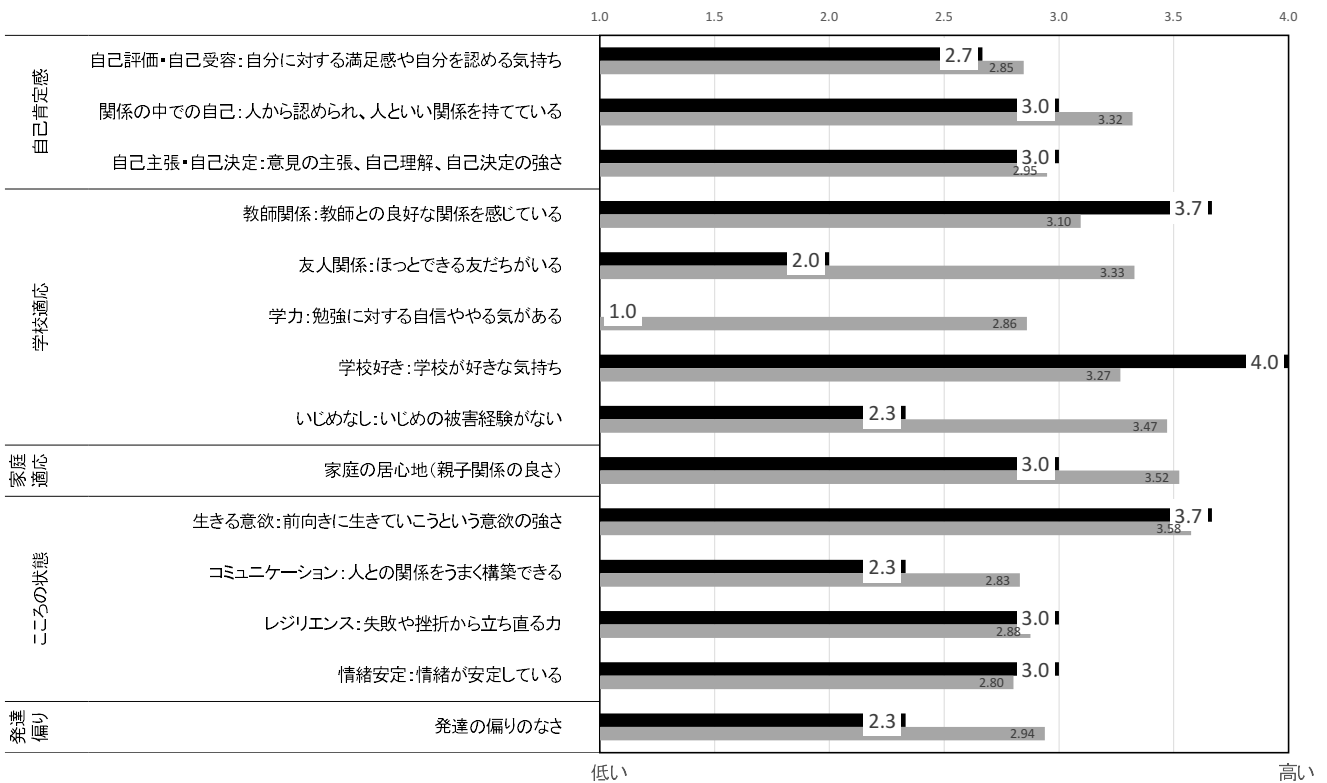
こころと生活等に関するアンケート 個票

4	年	1	組	1	番	
---	---	---	---	---	---	--

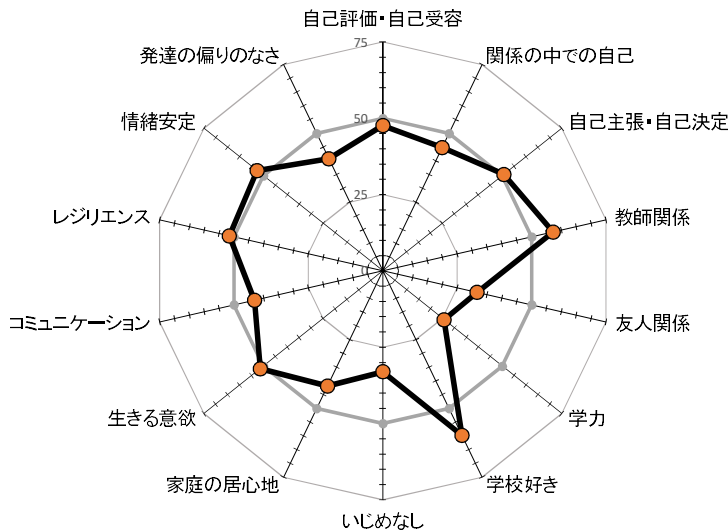
自己肯定感			学校適応					家庭適応	こころの状態				発達偏り
自己評価・自己受容	関係の中での自己	自己主張・自己決定	教師関係	友人関係	学力	学校好き	いじめなし	家庭の居心地	生きる意欲	コミュニケーション	レジリエンス	情緒安定	発達の偏りのなさ
2.7	3.0	3.0	3.7	2.0	1.0	4.0	2.3	3.0	3.7	2.3	3.0	3.0	2.3

こころと生活等に関するアンケート (得点)

■ 個人得点 ■ 全体平均



こころと生活等に対するアンケート (偏差値)



配慮が必要と思われる項目

学校嫌い	
いじめ	★
抑うつ	
発達の偏り	

★印がついた項目について配慮が必要だと思われます
 ★印は下記の場合に表示されます
 学校嫌い: 「学校好き」得点の偏差値が40以下
 いじめ: 「いじめなし」得点の偏差値が40以下
 抑うつ: 「情緒安定」得点の偏差値が40以下
 発達の偏り: 「発達の偏りのなさ」得点の偏差値が40以下

※個別質問への回答内容は因子別回答詳細を確認してください

<因子別回答詳細>

4	年	1	組	1	番	0
---	---	---	---	---	---	---

自己肯定感	
<u>自己評価・自己受容</u>	
1 私は、自分のことが好きである	1
18 私は、自分という存在を大切に思える	3
31 私には、良いところがある	4
<u>関係の中での自己</u>	
3 私には、自分のことを理解してくれる人がある	3
7 私のことを見守ってくれている周りの人々に感謝している	3
33 私には、自分のことを必要としてくれる人がある	3
<u>自己主張・自己決定</u>	
5 人と違っていても自分が正しいと思うことは主張できる	4
20 自分の中には様々な可能性がある	4
35 私は、自分の判断や行動を信じていることができる	1

学校適応	
<u>教師関係</u>	
11 学校の先生は、困ったときに助けてくれる	4
22 学校の先生は信頼できる	3
37 学校の先生は、私のことをわかってくれている	4
<u>友人関係</u>	
13 友だちは、私のことをわかってくれている	4
24 悩みを話せる友だちがいる	1
39 嫌なことがあると、友だちは慰めたり励ましたりしてくれる	1
<u>学力</u>	
15 授業はよく理解できている	1
26 勉強にはついていけていると思う	1
41 私は、勉強はまあまあできると思う	1
<u>学校好き</u>	
38 私は学校に行くのが楽しみだ	4
25 私は、この学校が好きだ	4
9 学校で友だちに会えるのがうれしい	4
<u>★いじめなし(反転)</u>	
34 友だちに嫌なことをされることがある	2
21 友だちから無視されることがある	3
4 仲間に入れてもらえないことがある	3

家庭適応	
<u>家庭の居心地</u>	
17 私は、家族に支えてもらっていると思う	3
43 私は、家や家族が大好きだ	4
27 私は、親(保護者)や家族に愛されている	2

こころの状態	
<u>生きる意欲</u>	
42 今を大切に生きていきたいと思う	3
28 生きていることはすばらしいと思う	4
12 いのちがかけがえないものだと思う	4
<u>コミュニケーション</u>	
29 自分の気持ちや考えをうまく表現できるほうだ	2
45 人とのつきあいがうまいほうだ	4
16 相手の伝えたい考えや気持ちを正しく読み取れる	1
<u>レジリエンス</u>	
30 挫折(失敗やつまずき)から立ち直るのは早いほうだ	4
6 困ったことが起きても、どうにか切り抜けることができる	1
14 嫌なことがあっても、すぐに気持ちを切りかえることができる	4
<u>情緒安定(反転)</u>	
36 私は、悲しい気持ちになることが多い	2
23 私は、何ごとにもやる気がなくなることがある	3
8 私は、毎日がとても退屈な気がする	1

発達の偏り	
<u>発達の偏りのなさ(反転)</u>	
10 気をつけていても忘れものをする人が多い	4
44 理由もわからず叱られることがある	2
40 急に予定が変わると、対応できなくなる	4
32 自分だけまわりとちがうと感ずることがある	2
19 自分の気持ちをコントロールすることがむずかしい	2
2 教室で人の声がうるさく耳をふさぎたくなることがある	2

4 : とてもあてはまる
 3 : だいたいあてはまる
 2 : あまりあてはまらない
 1 : まったくあてはまらない
 その他 : 回答なし

1 新型コロナウイルス感染症に対応した取組

(1) 新規の取組

- 学校再開に伴うスクールカウンセラーの追加配置
 - ・全公立学校でストレスチェック等を実施
 - スクールカウンセラーを交えたスクリーニング会議を開催し、児童生徒の状況を把握
- スクールカウンセラーからの情報発信
 - ・コロナ禍での子どもの様子や支援例等を保護者等へ提供（資料2 - 2 ②参照）
- 関連教材の作成・配布（資料2 - 2 ③参照）
 - ・ワークシート・指導資料「新型コロナウイルスと向き合い、乗り越えるために」
 - ・保護者向け啓発プリント「子どもたちと話そう！～新型コロナウイルスに関する偏見や差別のこと～」

(2) 既存の取組の改良・変更等

- いじめに関するアンケート調査
 - ・例年は6月に県一斉実施 → 令和2年度は11月に県一斉実施
- 「こころと生活等に関するアンケート」
 - ・既存の「質問紙形式（郵送・ダウンロード）」に加え、新たに「G Suite for Education版」（資料2 - 1 ④参照）を実装
- 研修会等
 - ・リモートによる開催 等

2 「いじめ防止強化月間」の創設

(1) 目的

- ・いじめに関する取組を集中的に行うことにより、いじめの未然防止、早期発見・早期対応を一層推進する。
- ・それぞれのいじめ事案の年度内の解消を図る。

(2) 時期・期間

- ・毎年12月に実施
- ・令和2年度は県立学校に周知・試行、令和3年度以降は市町村教育委員会等にも周知、協力要請

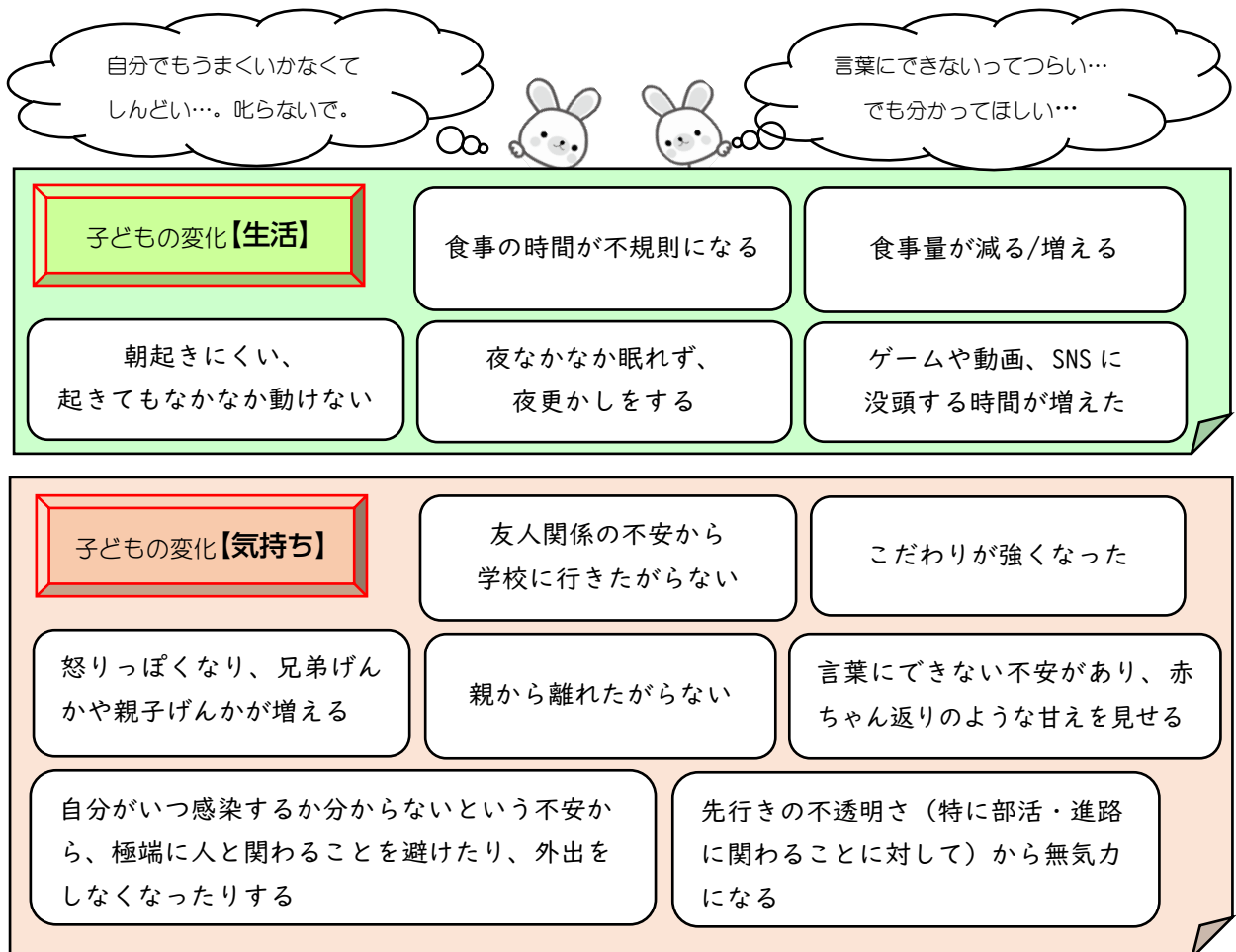
(3) 取組（予定）

- いじめに関するアンケート調査の実施
 - ・県一斉アンケートの実施を6月・12月の複数回に
- 各校における「いじめ防止組織会議」の集中実施と実効性強化
 - ・いじめアンケート結果に対する対応協議
 - ・未解消事案の追跡と再検証
 - ・毎年この時期に「学校いじめ基本方針」の点検・見直しを実施
- 保護者面談等の集中実施
 - ・三者懇談や家庭訪問等による保護者との連携強化
- 各校生徒会等による啓発活動等
 - ・児童生徒の主体的な取組による未然防止の強化・推進
- 研修会の実施
 - ・12月4日の研修会への生徒指導担当者・教育相談担当者等の参加
 - ・校内研修会等の推奨

With コロナの状況下でお子さまを見守り支えるために

奈良県スクールカウンセラー

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、子どもの生活は一変し、子どもも大人も対応に苦慮する日々が続いていると思います。想定外の休校期間、休校解除後の分散登校、短期間の夏休み等、例年とは違う生活に子どもにもたらされた影響は様々です。奈良県のスクールカウンセラーが現状を報告し合う中で見えてきた子どもの様子から、今後の理解と支援に少しでもつながればとの願いを込め、この資料をお届けします。



このような様子が、新型コロナウイルスによる影響で新たに見られるようになったと報告がありました。以前から見られた状況が深刻化した例もあれば、改善した例もあります。

心配な変化が見られたとしても、周りの大人が適切に対処をすれば、改善していきます。対処例を紹介しますので、子どもの変化に予め備えておき、慌てず対応していきましょう。

① 学校へ行きたがらない、登校しても保健室登校や遅刻・早退が続く場合



背景にどんな気持ち（不安・緊張・無気力等）があるのか、じっくりと耳を傾けてあげましょう。子どもが気持ちを言葉にするには時間がかかる場合が多くあります。“さぼっている”“怠けている”“甘えている”と感じたり、時には大人側の焦る気持ちから、叱責したり無理矢理登校させようとしたりしてしまうかもしれません。大人が一旦立ち止まり、ゆっくり



と時間をかけながら「どんな気持ちになっている?」「どんなことを考えている?」と子どもの声を聞く関わりを心掛けましょう。

② 生活リズムが乱れ、昼夜逆転の生活になったり、ゲームや動画、SNSに没頭したりする場合



“スマホに夢中になるから夜寝られなくなるんだ”と考え、スマホやゲームを取り上げるなど、必要以上に制限をかける対応になってはいませんか? 子どもは様々な不安から眠れなくなり、その結果ゲームや動画に没頭してしまう場合が多くあります。“どうしたらやめられるか”ではなく、“どうすれば眠れるか”に焦点を当て、生活リズムを戻す対応方法を子どもと一緒に考えていきましょう。特に、布団に入る2時間前の過ごし方が大切です。子どもと一緒に夜の時間の過ごし方を考え、一緒に本を読んだり、お話ししたりする時間を作るなど工夫し、睡眠前にはゲームやスマホから離れる生活を目指しましょう。



③ 親から離れず甘えたり、反対にイライラしてケンカが増えたりした場合



甘えやイライラも、気持ちの表現の一つです。周囲の大人や兄弟姉妹に余裕がない時には、子どもはよりイライラしてケンカになる場合があります。そうならない為にも、まずは大人が落ち着き、「いつもと違って〇〇だけど、どうしたの?」等と声を掛け、様子の変化に気づいていることを子どもに伝え、子どもが落ち着きを取り戻して話せる状況を整えてあげましょう。“いつもどおり”ができないことへの苛立ちもあるかと思います。時間をかけて今最大限できる“いつもどおり”を一緒に考えていきましょう。

④ 不登校(傾向)の子どもが登校できるようになった場合

大人から見ると喜ばしい変化だと感じる方も多いでしょう。オンラインによる出席や、分散登校による刺激の軽減がきっかけで登校できるようになった子どももいます。子どものエネルギーが持続できるよう、子どものペースを尊重し、期待や負担が過度にかからないように留意してください。登校再開が失敗体験とならないように支えていくことが大事です。

○今後の備え

大人がいつもどおりに振る舞うことがとても大切です。どんな場合でも大人がまずは落ち着き、過度に不安にならず対応することが望まれます。対応の基本は“**子どもに寄り添って話を聴く**”ことです。そのためにも大人が落ち着く方法をいくつかもおきましょう。下記の例を参考に、御自身に合ったリラクゼーションの方法を見つけてみてください。リラクゼーションの方法は、子どもと一緒に日頃から楽しんで取り組むとより効果的です。

呼吸法

息を長くゆっくり吐くことを意識します。3秒かけて息を吸い、5秒かけてゆっくり息を吐きます。

ストレッチ

身体をぎゅっと縮めてから、一気にダランと身体力を抜きます。肩を回したり、背伸びしたりすることも有効です。

その他

音楽を聴くことや温かい飲み物(ホットミルクやココア)を飲むこともオススメです。子どもとシャボン玉遊びも良いですね。

心配なこと、不安なことがあれば一人で抱え込まず、いつでも学校やスクールカウンセラーに相談してください。

奈良県立教育研究所でも、電話教育相談「あすなろダイヤル」や来所教育相談を実施しています。

ひとりで悩まずに相談してください。

不登校やいじめなど学校生活での悩み、子育てなど家庭生活の悩みをお話してください。一緒に考えましょう。

子どもの様子で
気になるところが・・・

子育てについて
不安・・・

子どもへの対応で
困っている・・・

電話教育相談「あすなるダイヤル」

0744-34-5560

こころすつきり



24時間対応

下記の時間帯以外は「奈良いのちの電話」に転送されます。

月～金曜日 9:00～21:00

土・日曜日・祝日 9:00～19:00

来所教育相談

予約制

申し込みは「あすなるダイヤル」へ

奈良県立教育研究所へお越しいただき、直接お会いして相談を進めます。子どもと保護者が同じ時間帯に別々の部屋で、それぞれの相談員が対応する「親子並行面接」を行っています。また、必要に応じて子どもを対象に「遊戯療法」「箱庭療法」も行います。

平日 9:00～17:00 (水曜日のみ9:00～12:00)

初回80分 2回目以降50分



奈良県立教育研究所だけでなく、市町村でも相談を受け付けています。教育研究所ホームページに「市町村教育相談窓口一覧」を掲載しています。また、リラクゼーション法を紹介する動画や「お子さんの不登校でお悩みの方へ」等、様々な情報を掲載しています。是非、ご覧ください。



奈良県立教育研究所ホームページ

<http://www.e-net.nara.ip/kenkyo/index.cfm/1.html>


新型^{しんがた}コロナウイルスと向き合い、 乗り^の越^こえるために

「新型^{しんがた}コロナウイルス感染^{かんせんしやう}症」に関連^{かん}した子ども^{こども}の声
 ※ 国立研究開発法人 国立成育医療^{いりやう} 研究センター コロナ×こども本部「こどものきもちもわかってよ」より作成

学校は楽しいけど、行って感染^{かんせん}したらどうしよう…。

いろんなニュースがありすぎて、どれが正しい情報^{じやうほう}か分からないよ。

ゲームする時間が増えたから、新しいゲームがほしいな。



できなかった授業^{じゆぎやう}はもうやってくれないの？
プリントだけじゃ分からないよ。

コロナが見えるマシンがほしいな。

修学旅行^{しゆがく}、行きたかったなあ…。

日ごろできないようなことに打ち込めるチャンスかも！

1 新型^{しんがた}コロナウイルス感染^{かんせんしやう}症の拡大^{かくだい}以降、あなたが感じたことのある気持ちを選び、どんなときにそう感じたかを書きましょう（いくつ選んでも構^{かま}いません）。

※ 感じた気持ち^{きもち}がリストの中^{なか}にないときは、 に自分で書き込み^{かきこみ}ましょう。

- | | | | |
|------|-------|-----------|--|
| こわい | さびしい | かわいそう | イライラする |
| がっかり | おどろいた | 不安（分からない） | |
| 安心した | うれしい | ありがたい | <input style="width: 150px; height: 25px;" type="text"/> |

感じた気持ち	どんなときに感じたか

2 次の事柄^{ことがら}について、思ったことを書きましょう（この中から2つ選びましょう）。

①



② Aさんの日記

5月5日（火） 晴れ

あるアニメを見ていたら、主人公一家が楽しそうに旅行に行くシーンがありました。ネットには、「今はみんな、コロナでいろんなことをがまんしているのに、こんなシーンを放送するなんて許せない！」「見ていてむかついた！」というような意見がたくさん寄せられていました。



③

新型コロナウイルス感染症^{しんがた かんせんしょう かんじゅ}の患者を受け入れている〇〇病院^{つと}に勤めるBさんが、帰宅しよう^{きたく}と病院にタクシーを呼んだところ、「〇〇病院にお勤めの方のご乗車はお断り^{ことわ}します。」と言われました。



④

“誰かのために…”そんなみなさんの思いや取り組む姿勢^{しせい}が、今の奈良県を支えていると思います。いつも本当にありがとうございます。何もできない私^{わたし}ですが…せめてお礼の気持ちだけお伝えできればと思います。

大変危険な現場^{げんば}で従事^{じゅうじ}していただき、ありがとうございます。私たちが安心してらせるのも、医療に従事^{じゅうじ}してくださるみなさまのおかげです。ありがとうございます。みなさまのご健康をお祈りしています。



奈良県民からの医療従事者等への応援メッセージより

(番号)	【思ったこと】 ----- -----
(番号)	【思ったこと】 ----- -----

3 新型コロナウイルスによる差別^{へんけん}や偏見^{ふせい}を防ぐために、わたしたちにできることを考えましょう。

新型コロナウイルスと向き合い、乗り越えるために

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、社会状況や生活環境の様々な変化が子どもたちに及ぼす影響が問題となっています。そんな中、子どもたちが不安やストレスを解消するために他者を責めたり傷付けたりすることなく、互いに支え合い認め合いながらこの状況を乗り越えられることが大切だと考えます。

本教材は、コロナ禍において感じた気持ちと向き合い、考えたり工夫したりしたことを身近な人と話し合い、偏見や差別の被害者にも加害者にもならないために何ができるかを考えることを通して、子どもたちの不安やストレスを軽減するとともに、互いの頑張りを認め合い、自尊感情を育む内容となっています。

1 新型コロナウイルス感染症の拡大以降、あなたが感じたことのある気持ちを選び、どんなときにそう感じたかを書きましょう。

自分の気持ちと向き合おう【気付く力】

「『新型コロナウイルス感染症』に関連した子どもの声」を見ながら、コロナ禍における自分の生活の変化等について出し合い、「どんなときに、どんな気持ちになったか（なるか）」を身近な人と共有することで、自分の気持ちを感じる人もいれば、同じような状況でも違う気持ちを感じる人もいることなどに気付かせる。

2 次の事柄について、思ったことを書きましょう。

社会で起きている様々な出来事と向き合おう【聴く力】

社会で起きている事象に対する様々な考えを交流することで、自分の考えをふり返り、正しい判断ができていないか（不確かな情報に振り回されたり、何かと感染症に結びつけたりしていないか等）、改めて考えさせる。

3 新型コロナウイルスによる差別や偏見をなくすためにできることを考えましょう。

今できていることを認め、今からできることを考えよう【自分を支える力】

今自分が頑張っている（できている）ことを認めるとともに、今の状況で「自分に何ができるか」という視点をもって、一人一人の頑張りを互いに認め合い、支え合いながらコロナ禍の社会を乗り越えようとする意欲を持たせる。

※ このワークシートは、日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」をもとに作成しています。

【参考指導資料】

○日本赤十字社

「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」

http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html

「ウイルスの次にやってくるもの」

<https://www.youtube.com/watch?v=rbNuikVDrN4>

○YouTube 奈良県教育委員会 在宅教育サンプル動画2 高校生向け（人権教育）

「新型コロナウイルスに関する偏見や差別に立ち向かう」

<https://www.youtube.com/watch?v=0gh59DaA4Zo>

○奈良県福祉医療部 新型コロナウイルス感染症対策への応援メッセージ

<http://www.pref.nara.jp/2606.htm#moduleid20071>

子どもたちと話そう！

～新型コロナウイルスに関する偏見や差別のこと～

新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大し、先の見えない状況や感染に対する不安から生じる、感染者やその家族、感染症に関わる人などへの心ない言動が見受けられます。

今、私たち一人一人には、感染者などを排除するのではなく、感染予防に努めながら、互いに助け合い協力し合うことが求められています。子どもたちが感染症に対する正しい理解のもとに適切な行動ができるよう、保護者のみなさまも、新型コロナウイルスに関する偏見や差別の防止について、子どもたちと話してみましょう！

思いやりの気持ちを言葉にする

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があり、感染者やその家族が悪いわけではありません。

子どもたちには、感染者を思いやる気持ちや医療従事者などへの感謝の気持ちを育めるような声かけをしましょう。



クラスの友達が感染したんだってね。大丈夫かな？早く良くなって、学校に来てほしいね。



感染した友達の家族も心配だろうね。私たちに何かできることはないかなあ。



医療従事者など、感染リスクがある中で頑張ってくれている人たちに感謝しないとイケないね。

新型コロナウイルスや感染者について話すとき、私たち大人が発する何気ない一言が、子どもたちの差別的な発言や態度につながる可能性があります。気をつけたいですね。

正しい情報を子どもと共有する

インターネット上に広がるデマや不確かな情報に振り回されないようにし、信頼できる確かな情報を子どもたちと共有しましょう。



感染者の名前などの個人情報やSNS等で発信しないようにしましょう。

子どもの頑張りを認める

子どもたちは、制限された生活の中で、私たちが考える以上にストレスを抱えています。子どもたちの話に耳を傾け、日々の頑張りを認め、褒めてあげましょう。



悩み事があれば相談を

悩み事があるときは一人で抱え込まないで、学校をはじめ関係機関にぜひご相談ください。

電話教育相談「あすなるダイヤル」
0744-34-5560

奈良県教育委員会事務局 人権・地域教育課
0742-27-9858